



並木中等story

令和3年6月29日号

泳ぎの早い人は無駄な動きが少ない

私は長年水泳部の顧問をして、大勢の生徒を見てきました。その中で分かったことが、**“泳ぎの早い人は無駄な動きが無かったり、少なかったりする”**ことです。無駄な動きがあると、それだけエネルギーを使います。また、水の抵抗も大きくなります。滑るように泳ぐのが、私のあこがれでした。では、無駄の動きを無くすにはどうするか、早い人の泳ぎを研究しながら、自らも練習です。基本を確かめながら自分のリズムを進める

ことです。途中で止めてしまうと振り出しに戻ることもあります。地道に続けると、無駄が少しずつ減ってきます。

この事は**勉強にも当てはまる**のです。能力を上げるのには、無駄を省くことは大切です。“勉強をした振りをする” “何かをしながら勉強する” “やったり、やらなかったりする” “楽なことだけやっている” これらは無駄に近いのではないのでしょうか。“やるときはやる”の心持ちで取り組むことをお勧めします。



《並木中等の生徒会役員選挙で 日本初のインターネット投票を実施！》

7月7日につくば市と共催で日本初のインターネット投票を実施します。これはつくば市のスマートシティー構想に協力し、本校の生徒会役員選挙でインターネット投票の実証実験を行うものです。今回の実施には、文部科学省、筑波大学、茨城県教育委員会、KDDI社、LayerX社、xID社の協力を得ています。